

# 農業支援サービス事業育成対策

【令和3年度予算概算決定額 95（-）百万円】

## <対策のポイント>

農業支援サービス事業体の新規参入・既存事業者による新たなサービス事業の育成・普及を加速化するため、新規事業立ち上げ当初のビジネス確立等を支援します。

## <事業目標>

農業支援サービスの利用を希望する農業の担い手の8割以上が実際に利用 [令和7年まで]

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### ビジネス確立対策

サービス量の伸び率を大幅に引き上げるため、新規事業立ち上げ当初のニーズ確保や人材育成に要する以下の取組を支援します（上限1,500万円）。

1. ビジネス確立のためのニーズ調査
2. デモ実演等に必要な機械・システムの改修やデータ収集
3. 農業支援サービス事業体が行う人材育成（研修費等）等

### （関連事業）

**強い農業・担い手づくり総合支援交付金のうち農業支援サービス事業支援タイプ**  
16,214（-）百万円の内数

農業支援サービス事業の新規事業立ち上げに必要な、農薬散布用のドローン等、農業用機械等のリース導入・取得等を支援します。

### 産地生産基盤パワーアップ事業のうち収益性向上対策

34,160百万円の内数

農業支援サービス事業体が、産地と一体となって収益力強化に計画的に取り組む場合、計画の実現に必要な農業用機械等のリース導入・取得等を支援します。

（農業支援サービス事業の活用拡大に係る成果目標をR2補正から追加）

## <事業の流れ>



### 【農業現場の課題に対応した農業支援サービス事業のイメージ】

課題

- ・ 農業現場の厳しい人手不足（特にピーク時の臨時雇用）

課題

- ・ 収量・品質の低下
- ・ スマート農機導入コスト

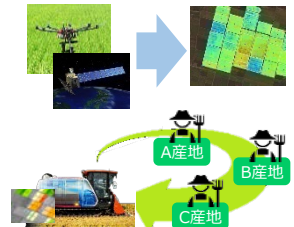
作業期に応じた人材派遣

ドローン防除等の作業受託

データ分析/農機のシェアリング



（労働力の安定確保や作業の外部化）



### 【農業支援サービス事業の課題】

#### 【具体的な課題例】

- 繁閑が明確なため、同一産地・品目では通年でのニーズ確保が困難。また、複数産地・複数品目に対応する場合は高度な人材の育成が必要
- 一つの作業失敗が収量・品質に大きな影響を及ぼすため、農家との信頼関係の構築に時間を要する

本事業で、  
・ ニーズ調査や人材育成  
・ デモ実演に必要な機械・システムの改修等を支援

【お問い合わせ先】 生産局技術普及課生産資材対策室農業支援サービスユニット（03-6744-2111）